

ほんばこ

March 2009

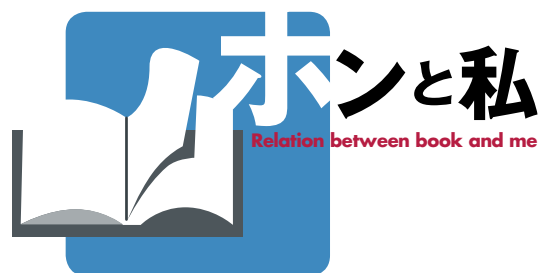
特集① ホンとわたし

「内山教授お薦め書籍」

特集②

電子図書館へようこそ!

特集①



——内山先生の研究されていることを一言で教えてください。

産

業や生活に不可欠となっているエネルギーは、社会の発展とともに消費が増大している。化石燃料など限りあるエネルギーを有効に利用し、その代替エネルギーである再生可能エネルギーや原子力を開発していく必要がある。私の研究は、エネルギーが社会でどのように使われているのか、その供給システムやエネルギー技術はどのような要因によって決められているのかを明らかにすることであり、システムや技術を経済、資源、環境、社会などから総合的に評価すること。特に、最近は地球温暖化など地球規模の環境問題が顕在化しているために、持続可能な発展を支えるエネルギーシステムと技術について分析している。研究室ではエネルギーリスクを中心に、その方法として産業連関分析、ライフサイクル評価、システム分析法、技術経済手法などを適用して研究している。

——先生は現在学生を教えている立場ですが、彼らは図書館をどのように利用していると感じますか？

月並みだが、情報化の発展で、若い人の知識を吸収させるものに変化してきている。昔は、書物、先生、現場など活字や会話を通して学んだが、今は情報・通信のメディアが多様になりビ

ほんばこインタビュー

内山洋司教授

内山洋司(うちやま・ようじ)
(1969年/卒業)

1949年生まれ。幾徳工業高等専門学校(現 神奈川工科大学)3期生、機械工学科卒業。研究者の道を歩みたいので東京工業大学へ入学。金属工学を専攻。1981年東京工業大学大学院原子核工学専攻博士課程修了。(財)電力中央研究所 経済社会研究所 上席研究員(原子力政策室次長)を経て、2000年4月より筑波大学大学院教授。所属学会 エネルギー資源学会 編集実行委員長、日本エネルギー学会など。主著に『エネルギー工学と社会(放送大学)』など。

<http://www.kz.tsukuba.ac.jp/~uchiama/>

ジュア化が進んでいる。大学の中の研究・授業も可視化して教える流れがある。一方で活字離れが進み、深い思考から物事の本質を捉えるよりも、ビジュアルな知識による表面的な情報で判断する傾向がある。学生はWhyよりもHow toを求める傾向にある。情報化社会には良い面もあるが、一方で人々に楽を求める傾向を増長し、溢れる情報の中から本質を捉える思考力や判断力を鈍くし、かつ現場から直接、学び取ろうとする意欲を低下させる恐れもある。大学では、問題意識を持って自ら学ぶよりも、卒業のための単位取得と先生の指示待ちで学ぶ学生が増えているように思える。図書館の役割も昔と比べて変わってきている。図書館は書籍を読む場であり、文献を検索する場であったが、今は、一人の世界に籠ることができる空間として利用している人が多い。理系の学生は、自分の研究に関係のある文献を図書館で調査することが少なくなっているように思える。最近は、インターネットによって論文を検索できるようになっているために、図書館に行く必要もないのかもしれない。しかし、図書館にはバックナンバーの文献や他大学等の図書館の資料が交換できるシステムが進んでおり、インターネットでは検索できない情報を豊富に得ることができる。

——学生はどんな読み方（読書）をすればよいと思いますか？

研究者にとっての本や文献の読み方は、まず問題意識をもつことが大切。読む前に、自分の研究に対して、自分の頭で問題設定、解決方法、結論までをできる限り考えること。最初は、幼

稚な設定しかできない場合もあるが、それはそれで良い。自分の問題意識から気になる情報を本や文献で探すようにする。探していると、問題を深めていく情報に必ず触れることができる。その時点で、もう一度、問題意識を再構築していく。そして、その思考を支える本や文献をさらに探し読む努力をする。そうすると、自分に必要な知識を速く探り当てることができるだけでなく、読んでいる本や文献のポイントを速く理解することができるようになる。こういったPDCAサイクルを回すことで、研究に対する能力がかなり向上していく。社会における仕事も同じような取り組み方で能力を発揮することが可能になる。若いうちにそういった訓練をしておくことが大切である。

——最後に、神奈川工科大学の学生へ一言お願いします。

幾徳高専の初期の学生であったことから、建学の精神に先生も学生も新鮮さがあった。先生方には高専でも大学に負けない学力を身につかせる、学生にもそれに応える学びへ気持ちがみなぎっていた。

学校の周辺は桑畑ばかりで遊ぶ場所も無く、寮生活も勉学に集中する良い場となった。寮に入り集中する時間と場所を与えてくれた。勉学に厳しい先生が多かったが、私の成長に大きな影響を与えたと思う。大事なのは高い志。目標を高くし、人には負けないという気概で努力していけば道は開けていく。どこの大学を出たという時代ではないので、目覚めた時にやればよい。求めれば道は開かれる。

——ありがとうございました

(2009年2月12日、筑波大学研究棟にて)。



「目覚めたときにやればよい!!」

丙山教授の
お薦め
書籍

請求記号
423.41IL



『エネルギーの発見』（所蔵あり） キース・J・レイドラー著 青土社・刊

エネルギーの歴史を飾った19名の科学者を取り上げ、科学史の展開を通してエネルギーとは何かがわかりやすく理解できる第一級の科学読本である。科学の理論が決定論的な研究から「不確定性原理」や「カオス理論」など予測できない研究へと変化していることを主張したかったのではないかと思います。どの章にもその時代に活躍した科学者の人間模様が描かれている。随所に描かれている科学者の人間臭さは、科学を身近な親しみあるものに感じさせる。

請求記号
501.61IT



『21世紀のエネルギー地政学』（所蔵あり） 十市 勉著 産経新聞出版・刊

原油価格が高騰を予測する著者は、日本を代表するエネルギー経済の研究者。エネルギー科学はどんな考えをしなければならないか。資源ナショナリズム、グローバルな考え方、構図が見事に分析されている。原子力開発の重要性が示されているが、資源確保に向けた国家間の競争が始まっている。エネルギー安全保障と地球温暖化問題からエネルギー資源が戦略商品と化し国家の主導的な役割が重要になってきているなかで、将来のエネルギーセキュリティはどうあるべきかを知る一冊。

厚本
資料コード
107134330
請求記号
519.111シ

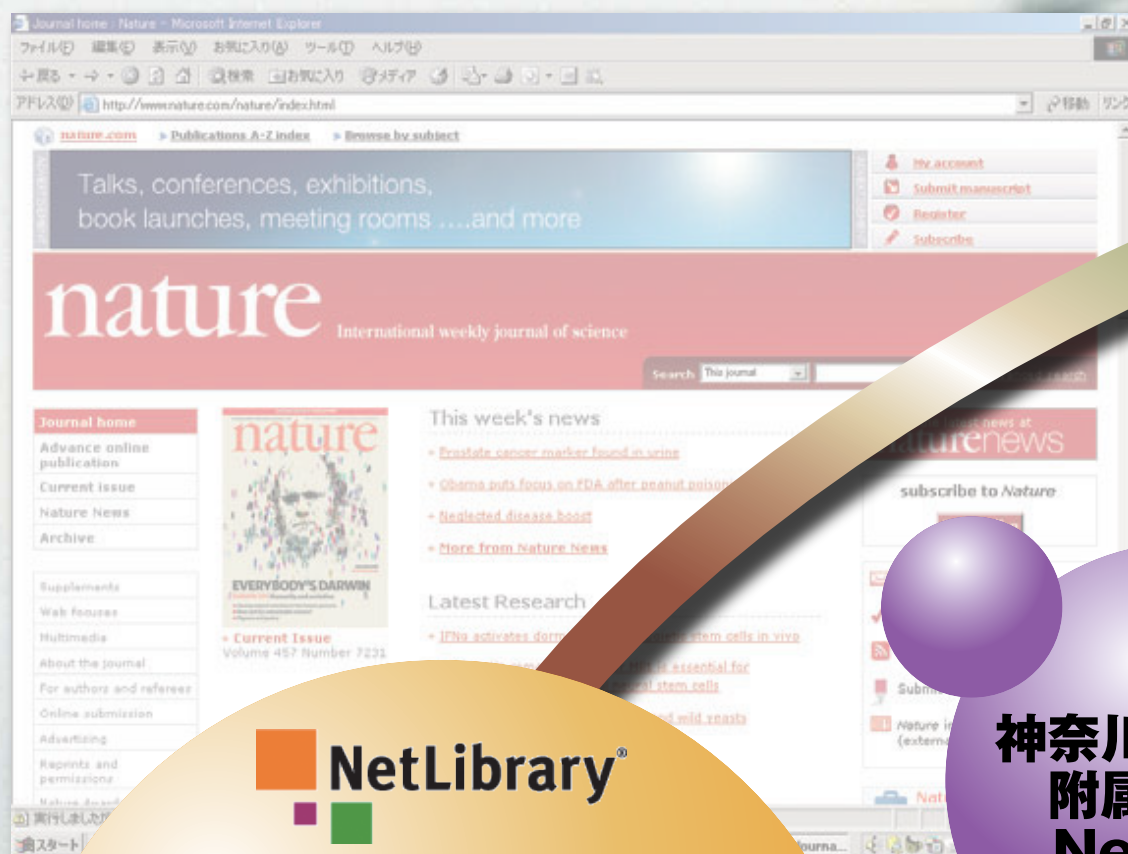


『スウェーデンの持続可能なまちづくり』 サラ・ジェームス、トルビヨン・ラーティエ著 新評論・刊

どのようにしたら地域社会を体系的に持続可能な暮らしへと移行させ、そして住民を活動に効果的に引き入れていけるか。再生可能なエネルギーへの転換、化石燃料から脱却する輸送と交通、環境配慮型の住宅や都市庭園、グリーンなビジネス、自給自足を目指すコミュニティ、エコロジカルな学校と環境教育、持続可能な農業など、広範囲な事例は日本におけるエココミュニケーション構築を考える上で大いに参考になる書籍。

特集 2

電子図書館へ ようこそ！



本の中身が検索できる！ NetLibraryは学生の味方

NetLibraryのeBookは新しいスタイルの本（電子書籍）です。自宅のパソコンから図書館の本を読むことができます。神奈川工科大学のNetLibraryには基礎的な学習図書が揃っています。

NetLibrary は学生の味方

- ・ 個人アカウントを作成すればeBookを自宅のパソコンで読むことができます。
- ・ ページにメモができます。引用、コピー＆ペーストOK。印刷可能！
- ・ 本の中身全てがキーワードで検索できます。必要な内容がどのページにあるか素早く検索。
- ・ eBookと紙の本（冊子体）両方があるので、自宅で検索して図書館で冊子体をじっくり読むことも可能です。

神奈川工科大学
附属図書館
Network



データベース

※学内LANに接続限定

ワンクリックで信頼の情報をGETできる!

神奈川工科大学では複数のデータベースを用意しています。新聞記事の全文検索や、論文を探すならデータベースを活用しましょう。Google で得られない情報も神奈工のデータベースを使えば素早く入手可能です。

新聞から雑誌、論文、事典辞書まで一発検索

- ・自分のパソコンから検索できます。
(学内LAN接続限定)
- ・信頼性のある有益情報の宝庫です。
- ・欲しい情報に素早くアクセス可能です。

電子ジャーナル

※学内LANに接続限定

24時間パソコンで雑誌が読める!

電子ジャーナル (Online Journal) は、電子的形態の雑誌のことで、キャンパス内のどこからでもパソコンで雑誌を読むことができます。神奈川工科大学では約 4500 タイトルの電子ジャーナルと契約していて、常に最新の記事にアクセスできます。

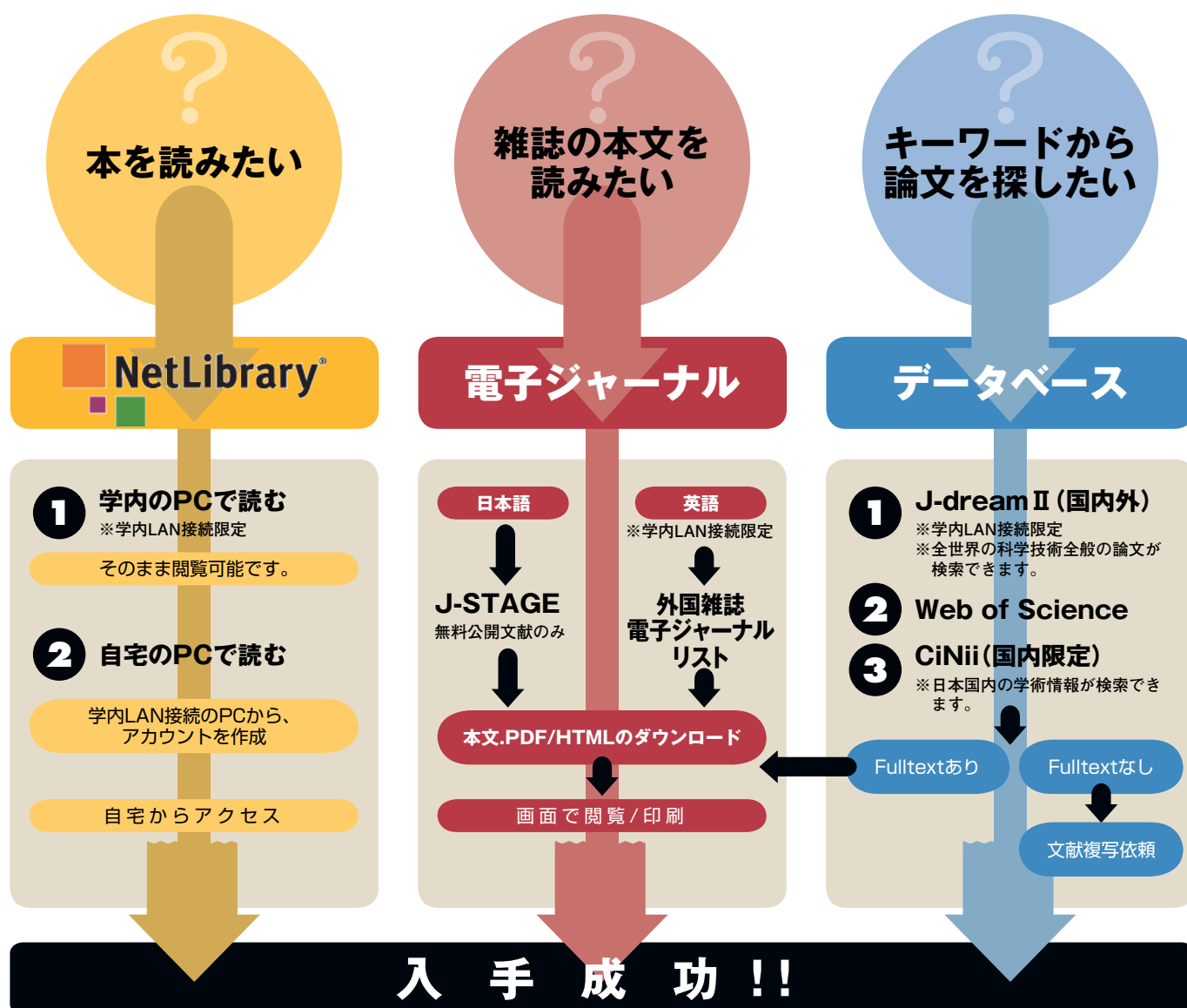
電子ジャーナルの4つの特徴

- ・自分のパソコンで最新の雑誌が読めます。
(学内LAN接続限定)
- ・24時間、時間の制限を受けません。
- ・引用文献へのリンクがあります。
- ・PDFで印刷可能
電子情報通信学会論文誌、Nature、Science etc





情報入手の3つのアプローチ など

**NetLibrary****NetLibrary の自宅からの使用方法**

自宅からのご利用には、学内LANに接続されたPCから、アカウント作成を行ってください。1度アカウントを作成すると、1年度間、ご自宅のPCから24時間いつでも電子書籍をご利用頂けます。

- ・アカウント作成は、学内LANに接続されたパソコンより行ってください。
- ・アカウントの有効期間は、1年度間です。
- ・年度末に一括削除されますので、再登録をお願いします。
- ・アカウントはkait+学籍番号(職員番号)をお願いします。
形式に則らないものは削除されます。

<http://www.kanagawa-it.ac.jp/~p3013/tos/netlibrary/netlibrary.html>

電子ジャーナル**関連キーワード**

TOC
(Table of Contents)=Contents=目次
Browse=一覧を見る
Current issue=最新の巻号
volume, vol=巻
Archive=バックナンバー
Freely Accessible=無料公開
ISSN=雑誌についている8桁の番号。
検索に便利。
Full text=全文閲覧可
PDF= 全文を閲覧する表示形式。
印刷に適する。
HTML=全文を閲覧する表示形式。
文章中に参考文献へのリンク
など、PC画面上での閲覧

データベース**データベース用語**

abstract(抄録) = 要約
シソーラス=専門用語辞書
論理演算子=and or notなど
トランケーション=前方一致、後方一致、
中間一致で検索する方法
和文標題= 論文の日本語タイトル
(J-dream II)
英文表題= 論文の英語タイトル
(J-dream II)
資料名= 論文が掲載されている雑誌
や図書の名前 (J-dream II)
CrossRef=文献へのリンク
CiNii PDF=本文へのリンク (CiNii)
学内LAN限定=学内のみで利用可能

図書館の活動

図書館では、図書館をより使いこなす、あるいは楽しんでいただけるような様々な企画を実施しています。昨年度は次のような企画を実施しました。

ライブラリーツアー

図書館の蔵書検索やデータベースの使い方を分かりやすく説明し、また館内各フロアをご案内するという企画。年2回、春と秋に実施しています。参加された方の要望やスキルに合わせて柔軟に対応しました。

選書ツアー

図書館にあったら良いなと思う資料を、実際に書店の店頭で手にとって選んでもらおうという企画。紀伊國屋書店新宿南店で、学生みなさんのご協力を得て行なわれました。

ブックハンティング

図書館1階に用意した数百冊の本の中から、“図書館にあれば良いな”と思うものを、その場で選んで頂く利用者参加型のイベントです。図書館の中に書店が引っ越してきたのを想像頂ければ分かりやすいかもしれません。学生・教員問わず、大学に所属していれば、どなたでもご参加頂けます。



企画展示

中央階段前の書架を利用して、以下のようなテーマで企画展示を行ないました。

大学や世間の動きに合わせ、かつ理工系以外のテーマでも設定。

活字だけでなくDVD、CDの展示、スタッフ手作りのPOPも活用し、来館された方に好評をいただきました。

The birth of new class (8.9.10月)



今年、新設学科として誕生した中からホームエレクトロニクス開発学科と応用バイオ科学科を紹介しました。各学科の先生方にご協力いただき、おすすめ本やレゴ、DNA構造の模型、授業風景の映像など目で楽しめる展示となりました。

「The・文学賞」「携帯小説」「スポーツ関連図書」 (11.12月)



普段から本読みな方も、文字が大嫌いな人も新しい本に出会えるチャンス。文学賞受賞作だけではなく、色々な本も紹介しています。

※この他、下記のテーマで展示を行いました。

4.5月 …… ●新生活応援 ●神奈川・厚木の紹介 ●KAIT工房 ものづくり特集

6.7.8月 …… ●世界へはばたけ ●アフリカ関連図書展

1.2月 …… ●We are Friends of the Earth～自然・環境問題関連図書、動物図書～ ●ウインタースポーツ

フロアガイド

図書館は本を読んだり、貸し借りをするだけの場所ではありません。グループで使える部屋や、ゆっくりCDを聴けるコーナーがあったりと、便利で楽しい空間です。授業の合間の一時を楽しむもよし、1日ゆっくり過ごすのもよし。図書館の全てを紹介します。

1F

なんたって図書館の顔。
書籍から CD、DVD まで、なんでも揃う総合フロアです。

- ① カウンター
- ② コピー室
- ③ インターネット閲覧用・
所蔵検索用 PC
- ④ CD-ROM 検索用・
AV 資料検索用 PC
- ⑤ 個人視聴ブース
- ⑥ ビデオ・DVD
- ⑦ CD
- ⑧ 参考図書
- ⑨ 指定図書
- ⑩ 参考図書
- ⑪ 雑誌コーナー
- ⑫ 新聞
- ⑬ ブラウジングコーナー
- ⑭ 自由閲覧室
- ⑮ 事務室
- ⑯ 新着コーナー
- ⑰ 漫画・軽図書コーナー



① カウンター



貸出や返却はもちろんのこと、図書館の利用について何でもお尋ねください。

③ ネット閲覧 PC



インターネットを利用でき、印刷も可能です（一人5枚まで）。
※ただし、メールや表計算ソフトなど、インターネット以外の利用はできません。

⑪ 雑誌コーナー



国内外の雑誌が多数あります。学術雑誌だけではなく、「週刊ベースボール」や「ぴあ」のような一般雑誌も閲覧できます。

⑬ ブラウジングコーナー



くつろいで新聞や雑誌を読みたいときに利用ください。（携帯電話での通話や飲食はご遠慮ください）

⑥⑦ AV 資料コーナー



DVD、CD、ビデオと様々な AV 資料を揃えています。研究の参考に、授業の息抜きに利用ください。

書架になくても大丈夫。
まだまだたくさん、蔵書はあります。
自由に閲覧できます。

B1F

- ⑥ 書庫 (1)
- ⑦ 所蔵検索用 PC



④ AV ホール

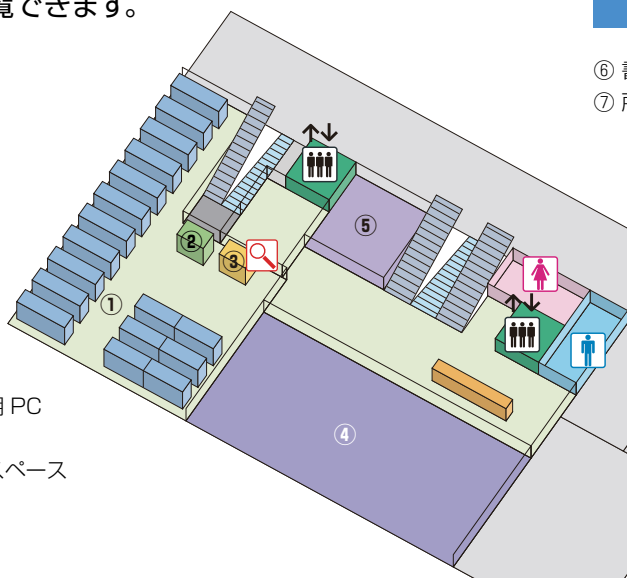
100人まで利用することができます。充実した設備で、研究発表など大きな催しに対応可能。申込は1階カウンターまで。

⑤ ドリンクスペース

学習の合間にちょっと息抜き。飲料の自動販売機も利用できます。（AVホール使用時は利用を停止させていただきます）

B2F

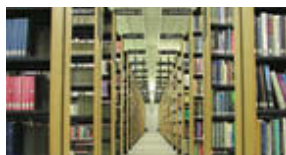
- ① 書庫 (2)
- ② コピー機
- ③ 所蔵検索用 PC
- ④ AV ホール
- ⑤ ドリンクスペース



2F

とにかくその本の数に圧倒。
探検気分で本探しを楽しもう。

② 書架



高い天井に、抑え目の照明。落ち着いた雰囲気の中で、図書選びが楽しめます。

③ グループ閲覧室



友達同士で話し合いながら資料を見たいときはこの部屋。6人がけテーブルがあり、グループで利用できます。

④ 自由閲覧室



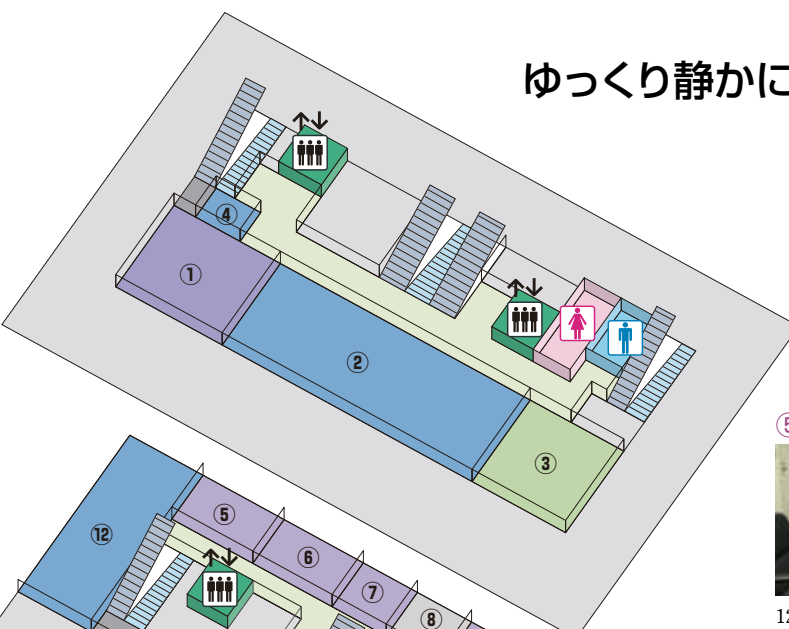
個人用デスクやLANの設備も完備。落ち着いて資料と取り組みます。LANケーブルの貸出は、カウンターで申込みください。



多様な部屋で、
ゆっくり静かに学習できます。

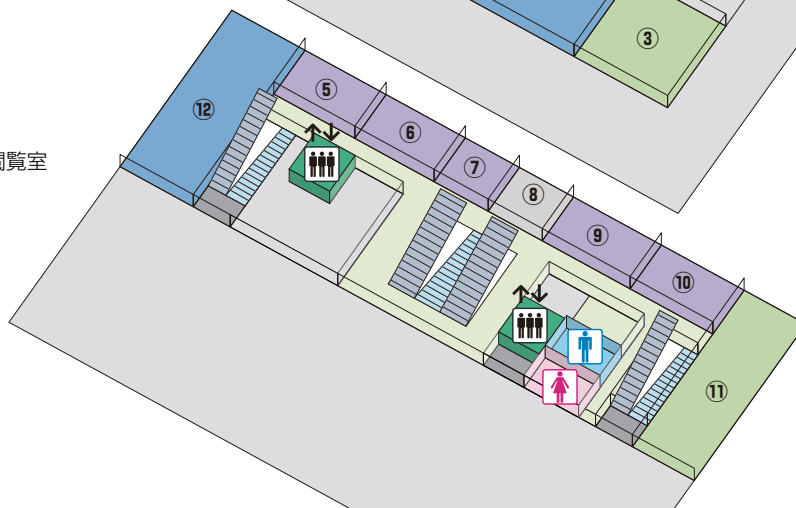
4F

- ① 会議室
- ② 研修室
- ③ 特別閲覧室
- ④ パントリー



3F

- ⑤ ゼミ室 (1)
- ⑥ ゼミ室 (2)・院生閲覧室
- ⑦ グループ視聴覚室
- ⑧ 顧問室
- ⑨ ゼミ室 (3)
- ⑩ ゼミ室 (4)
- ⑪ 教職員閲覧室
- ⑫ 教育開発センター



⑤⑥⑨⑩ ゼミ室



12人まで利用可能です。LANケーブル、ホワイトボード完備。利用申込は1階カウンターまで。(スクリーン・プロジェクターの利用は事前に問合せください。また、学生のみで利用できるのは、サークル、部活動の会議のみです)

⑦ グループ視聴覚室

3人から利用できます。一階のカウンターで申込ください。

利用案内

入館について

入館ゲートのセンサー部分に、学生証・モバイル学生証をタッチしてください。

※学生証をお持ちでない方は、入館ゲートにあるベルを鳴らしてスタッフを呼んでください。



資料の探し方

- 図書館資料検索用のPCをご利用ください。端末は2階から地下2階までの各フロアに設置してあります。
- 図書館のホームページからでも検索できます。「蔵書検索」ボタンをクリックして下さい。

図書を利用するとき

借りるとき

- 図書と学生証を1階カウンターにお持ちください。
- 返却期限の過ぎている本があるときは、貸出はできません。

貸出条件

一般学生	10冊	2週間
卒研究生	15冊	1ヶ月
大学院生	20冊	1ヶ月

※単位互換履修生・科目等履修生は一般学生扱いです。
※研究生は卒研究生扱いです。

返すとき

- 1階カウンターにお返しください。
- 閉館時には、東口のブックポストをご利用ください。

継続して利用したいとき

- 借りている図書を継続したいときは返却期限内にその図書と学生証を1Fカウンターまでお持ちください。
- 予約が入っていたり、返却期限の過ぎている本がある場合は継続できません。

読みたい本が書架にないとき

● 貸出中の場合

予約をすることができます。予約申込書に記入し、カウンターへお持ちください。返却されたら掲示板にてお知らせします。希望者にはメールでお知らせします。

● 図書館に所蔵がない場合

購入希望を受け付けます。購入希望申込書に記入し、カウンターへお持ちください。購入の可否、また受入予定について後日掲示板にてお知らせします。

他大学の図書館や公共図書館を利用することもできます。詳しくはカウンターでお尋ねください。

雑誌・参考図書を利用するとき

- 学術雑誌・参考図書は、貸出をしておりません。館内でご利用ください。
- ただし、研究室で利用するなど特別な理由のあるときには、一夜貸出でご利用ください。返却は翌日の9:30までとなります。カウンターの「一夜貸出申込書」に記入の上お申送ください。

電子ジャーナルの利用について

外国の学術雑誌を中心とした電子ジャーナルが利用できます。

- 図書館のホームページの「電子ジャーナル」の項目を開いてください。
- 外国のジャーナルは「外国雑誌電子ジャーナルリスト」から検索出来ます。本学で利用可能な電子ジャーナル(4500タイトル)を、タイトル、ISSN、主題から検索することができます。日本のジャーナルは「J-STAGE」から検索できます。著者名、キーワード、タイトルで検索することができます。
- 利用の際はホームページの「電子ジャーナルの利用にあたって」をご覧ください。

AV資料を利用するとき

- AV資料を館内で視聴するときは、AV資料コーナーにある視聴申込書に記入のうえ、カウンターで手続きをして下さい。
- CDのみ館外貸出が出来ます。(1人5点まで、1週間)利用したいCDと学生証をカウンターにお持ちください。
- 借りたいCDが館内にない場合、図書と同様に予約・購入希望ができます。申込書に記入の上、カウンターへお持ちください。

コピーをしたいとき

- コピーの際は複写申込書に記入し、カウンターでお申送ください。モノクロは1枚10円、カラーは1枚30円です。
- 必ずコインをご用意ください。両替機は設置しておりません。また、カウンターでの両替も致しておりません。
- コピーできるのは、本学図書館の所蔵資料に限ります。
- コピーの際は、著作権法に則って行なってください。
- 雑誌の最新号は、コピーできません。

キャンパスアグリーメントソフトの貸出について

図書館では、マイクロソフトのキャンパスアグリーメントソフトの貸出を行なっています。

- 利用できるのは本学の在学生(研究生、科目等履修生含む)、専任教職員(客員教授、ポストドクター、嘱託・臨時職員含む)です。
- 貸出は1人3点まで、返却は翌日の12時です。
- ソフトはカウンター内に置いてあります。利用の際は学生証・身分証明書を提示して必要なソフトを指定してください。
- 貸出中のソフトは予約をすることができます。



ご質問はお気軽にカウンターまでどうぞ。

インターネットの利用について

図書館に設置されている端末で、インターネットを使用することができます。

- 利用は原則として30分以内となります。混雑時にはゆずり合ってご利用ください。
- 印刷もできます（1人5枚まで）。印刷用紙はカウンターでお渡ししています。
- フロッピー、リムーバブルディスクなどの利用はできません。
- 電子メールソフトは利用できません。
- また、Word、Excelなどのソフトもご利用できません。
- 設定を変えないようにお願いします。

また、ご自分のノートパソコンを持ち込んで利用することも出来ます。LANケーブルをカウンターで貸出しております。申込書に記入の上、学生証を提示してご利用ください。

※持ち込みのパソコンをご利用の場合は、印刷はできません。



レファレンスサービスについて

レファレンスサービスとは、文献の探し方、データベースの使い方など、図書館の利用に関して分からないことの質問・調査に応じるサービスです。

「○○というテーマの参考資料を集めるにはどのような方法があるの?」「論文のタイトルは分かるのだけど、どの資料に収められているか分からない」など、相談したいことがありましたら、お気軽にカウンターへお尋ねください。理工系以外のご質問でも、どうぞご相談ください。

図書館
スタッフ
から

神奈川工科大学附属図書館 へようこそ!

私たち神奈川工科大学附属図書館は「利用者の声をかたちにする図書館づくり」を目指しています。

利用者の皆さんが気持ちよく学習できるよう、また音楽を聴いたり、DVDを鑑賞して楽しい時間を過ごしてもらえるよう、より良い図書館づくりに努力しています。

そのために最も大切なのが、利用者の皆さんの声です。図書館では毎年様々なイベント、企画を開催し、利用者との触れ合いを機に皆さんからの要望の声をキャッチしています。

イベントには、図書館に入れてもらいたい本を実際に手にとって選ぶ、「ブックハンティング」、「選書ツアー」があります。

また、本の探し方、レポート、論文の資料探しのコツを学ぶ「図書館ガイダンス」は一人一人の希望に合わせて行なっています。

皆さんに図書館をフルに活用していただき、その中から出てくる要望、意見を参考に、皆さんの希望に合った図書館へと発展させていきたいと思っています。

今後も「利用者の声をかたちにする図書館づくり」を一番に、スタッフ一同日々勉強を重ねてがんばってまいりますので、どうぞよろしくおねがいします。

皆様のご利用をお待ちしております!



BOOKS

図書館の おすすめ

本



『人月の神話— 狼人間を撃つ銀の弾はない』

著者：フレデリック・P.ブルックス・Jr
出版社：ピアソン・エデュケーション

33年前に書いた『ソフトウェア開発の神話』です。
ソフトウェアプロジェクト管理・ソフトウェア開発論の古典と呼んでもよいほど有名な本だ。『人月』について誤って認識している人々が多い。人月とは見積もりとスケジューリングに使われる仕事の単位である。コストは実際に人数と月数の積に比例する。しかし、進捗はそうではない。したがって、仕事の大きさを測る単位としての人月は、疑うべき危険な神話なのだ。人月とは、人と月とが互いに交換できるという意味だからである。システムプログラム開発においては、人と月を交換してもお粗末な結果しか得られないだろう。
原書は1975年に出版され、その後長い間読み継がれてきた。これは、ソフトウェア開発における問題は、本質的に変わっていないことを意味している。プロジェクト管理に関心があるのであれば、一度は読んでおきたい。

請求記号：007.611B



『青い鳥』

著者：重松清
出版社：新潮社

ムラウチ先生は、大切なことを教えてくれる。うまくしゃべれないから、大切なことしか言わない。たと言葉がつかえても、それが本気だから、伝わってくるもの—
著者・重松清の作品はリアルな問題を描いている小説が多いが、最後には心が洗われるような、ほっとするようなものが多い。この作品もそのひとつ。短編小説集である『青い鳥』は、中学の臨時講師の村内先生というひとりの教師によって話が展開される。村内先生は吃音で上手くしゃべれない。だけれど孤独な生徒に寄り添い、ただそばにいる。話をすることが苦手な先生は多くを語らず、ただ大切なことだけを伝える。そして言葉が届いたとき、そっと姿を消す…生きていく中で、日々悩み、傷つくこともある。そんな人たちにとって、この本が「村内先生」になってくれるような気がする。ふとした時に孤独や不安を感じたら、是非手に取ってほしい一冊である。

請求記号：913.6IIS



『食堂かたつむり』

著者：小川糸
出版社：ポプラ社

最近「いただきます!」と言っていますか? 国も企業も「食育」について活発に取り組む一方で、産地偽装など食の安全を脅かす事件が後を絶たない今だから、この本を通じて、食することについて振り返ってみませんか? 衝撃的な失恋のあと、故郷の実家の離れで食堂を始めた主人公倫子は、一日一組のお客のために、最高のメニューを考え、全魂を料理に注ぎ、まるで魔法をかけたように、訪れる人々を幸せな気分にしてしまいます。読んでいる私たちも次々にでて来るお料理を食べたくなり、作りたくなってしまいます。母親が長年ペットとして飼っていた豚のエルメスの最後は、「食することは、命をいただくということ」を、強烈にアピールする著者の想いを感じます。

請求記号：913.6IIO



『魔女の宅急便』

著者：角野栄子
出版社：福音館書店

スタジオジブリでお馴染み、映画「魔女の宅急便」の原作で、映画を観たみなさんは知っての通り、魔女である主人公のキキと黒猫のジジがホウキにまたがり、空を飛んでお届けものをするというストーリー。13歳のキキがひとり立ちや親離れをし、配達に関わった人々を通じて、魔女として、人として成長していく心温まる物語です。
でも、意外と知られていないのは、原作と映画は結末が少し違って、小説では続編も5巻まで出ています。
映画の魔女の宅急便を思い出しつつ懐かしみながら読むのもよし、原作と映画の違いを楽しむのもよし! 色々な楽しみ方のできる感動の一品です!!

請求記号：913.8IIK



『図解 世界の環境地図 地球温暖化の本当がわかる!』

著者(監修)：原剛
出版社：青春出版社

話題の環境問題についてわかりやすく地図で表されています。
しかもデータと写真が使われているため、客観的に環境について考えることができるすぐれもの。今の地球がどうなっているのか、これからの私たちがどうなっていくのか……。知ることから始めましょう。

請求記号：451.85IIS

音楽長 音番

CDなら
これを聞け!

『ベスト オブ くるりー TOWER OF MUSIC LOVER』

アーティスト: くるり
ビクターエンタテインメント

「ベスト」の意味は人によって異なると思いますが、このアルバムは、いわゆる代表曲を集めただけの「ベスト」ではありません。メンバーが選曲しており、変化に富んだくるりの歴史と、その素晴らしさ、さらにこの先のくるりへの希望を感じさせてくれる一枚です。どのアルバムにも収録されていない名曲、「春風」が聴けるだけでも、このアルバムを手にする価値があります。ライブベストアルバムも発売されているので、ぜひ手にとってみて下さい。



請求記号: CD和IIクII2312

『A COMPLETE ~ ALL SINGLES ~』

アーティスト: 浜崎あゆみ
Avex trax

デビュー10周年記念として創られた浜崎あゆみのベストアルバム。その名の通り、デビューシングルの「poker face」から10年間のシングル発売された曲、全43曲が収録されています。曲の順番も出したシングルCDの順番なので、あどけなさが残る1曲目から順番に聴いていくとまさにあゆの10年間の成長を見ることができます。曲を聴くと10年前のなつかしい気分を味わえます。しかしまた、成長して深みが出た曲も聴くことが出来ます。歌姫と呼ばれた浜崎あゆみの曲とその素晴らしい実力、10年間の奇跡を存分にお楽しみ下さい。



請求記号: CD和IIハII2560

『ワイアット・アープ スペシャルエディション』

DVD 2枚組 ¥3,129(税込)
ワーナー・ホーム・ビデオ

請求記号
ワIIDVDII179

ワイアット・アープは厳しい父の下で幾度も家族の絆は何よりも勝ると教えられて育つ。法律を勉強した後、心に決めた女性、ウリラと結婚したが、幸せな日々は長くは続かなかった。ウリラが亡くなってからワイアットは酒びたりの日々を送り、ついに拘留所に入れられてしまう。その後父によって目を覚ましたワイアットは酒を飲まずに仕事をするが、ある日、酔っ払いを取り押さえたために保安官にスカウトされる。その町で兄弟と共に法の執行者として働いていたが、厳しいやり方に不満を持つものも出てきていた。ある一味とアープ兄弟の対立は有名なOK牧場の決闘へと発展していく…西部開拓時代を生きたワイアット・アープの一生を忠実に描いた作品です。兄弟と共に決闘に向かうシーンや、実際にあった出来事として作品を観るととても魅力的です。



『ミュンヘン』

DVD 2枚組 ¥3,129(税込)
角川エンタテインメント

請求記号
ミIIDVDII449

1972年、パレスチナ武装組織がイスラエル人選手とコーチの2名を殺害、残りの9名を人質にするミュンヘンオリンピック事件が発生。事件後イスラエル政府は英雄の息子アヴナーに事件に対する報復のため、逃走した犯人たちの暗殺任務を極秘裏に依頼する。アヴナーは暗殺行為に対する恐怖、さらには自身も標的となり次第に極限の精神状態に陥っていく。幸せな家庭を築くはずだった男が組織により、徐々に負のスパイラルに巻き込まれていく姿がリアルに描かれています。本作の他にもトロイやブラックホーク・ダウンに出演し、シリアスな演技に定評のあるアヴナー役のエリック・バナだが、母国オーストラリアでは複数の冠番組を持つコメディアン。そんな彼が、平和な日常から遠く離れ極限の状態に家族に電話し突然涙するシーン、必見です。

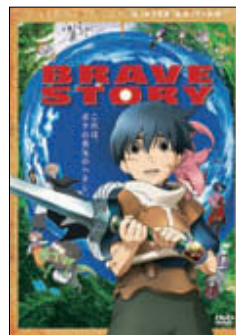


『ブレイブストーリー 特別版』

DVD 2枚組 ¥3,980(税込)
ワーナー・ホーム・ビデオ

請求記号
ブIIDVDII461

原作はベストセラー作家、宮部みゆきの冒険ファンタジー小説。小学5年生の三谷ワタルは、学校で話題となっている幽霊ビルを探検中に奇妙な出来事を目にする。キレイな顔をした少年が、宙に浮かぶ階段を上っていき、大きな扉の中へと入っていったのだ。翌日、ワタルは少年が隣のクラスの転校生・荒川ミツルだと知り、扉の向こうに行けば運命を変えられるのだと聞く。ワタルは平凡な少年だった。しかし突然、父が離婚すると家を出ていき、母がショックで倒れてしまう。「こんな運命変えてやる!」扉の向こうへと飛び込んだワタルの、「幻界」(ヴィジョン)での旅が始まった。少年ワタルの運命を賭けた、心温まるストーリーです。



メディア工房管理委員が選ぶ!

VIDEO

お勧めDVD

『アイ・アム・レジェンド 特別版』

DVD 2枚組 ¥3,980(税込)
ワーナー・ホーム・ビデオ

請求記号
アIIDVDII712

ニューヨークを舞台に繰り広げられる人類最後の男とウイルスとの戦い。男は、世界でたった一人の生き残りだった。男の名はネビル。彼の希望はたった一つ。それは免疫のある自分の血液から、ウイルスを根絶する薬を作り出すことだった。はしかのウイルスを基に万能薬ともされる新薬の開発に成功したクリビン博士。その新薬の効力は、投与した癌患者全員の癌が完治したほどだった。これにより、医学は限りない進歩を遂げるかと思われた。しかしそれからしばらくして、事態は急変する。新薬に用いたはしかが突然変異を起こし、この新薬を投与した患者に狂犬病に似た症状が出始めたのだ。感染する拡大。迫りくる時間。感染により闇の住人と化してゆく人々。ネビルは無事ウイルスを根絶する薬を作り出し、感染した人々を、そして地球を救うことはできるのか。

Library Navigation



他館の利用について

利用したい資料が本学にない場合は、他の大学・公共図書館を利用することができます。

■私工大加盟館の利用について

下記の私工大加盟図書館では、個人貸出ができます。ホームページ、または図書館カウンターにて利用条件をご確認ください。

- 足利工業大学附属図書館
- 埼玉工業大学図書館
- 湘南工科大学附属図書館
- 東京工科大学メディアセンター
- 東京電機大学総合メディアセンター（神田・千葉・鳩山）
- 日本工業大学LCセンター図書館
- 工学院大学図書館（新宿・八王子）
- 芝浦工業大学図書館（豊洲・大宮・芝浦）
- 千葉工業大学附属図書館（芝園・津田沼）
- 東京工芸大学中央図書館
- 東京理科大学図書館（神楽坂・野田）
- 東京都市大学図書館（旧 武蔵工業大学）

■神奈川県内大学図書館の利用

共通閲覧証をお持ちの方（大学院生、教職員のみ）は、神奈川県内大学図書館相互協力加盟館で閲覧することができます。共通閲覧証の発行、利用についてのお問合せ等はカウンターへお願い致します。

■それ以外の大学図書館について

上記以外の大学図書館を利用の際は紹介状が必要となります。
紹介状の発行はカウンターでお申込ください。詳細はレファレンスの項目をご覧ください。

■厚木市立図書館の利用について

本学の図書館で、厚木市立図書館で所蔵する図書・雑誌の貸出が受けられます。
カウンター備付の予約カードに記入の上お申込ください。

厚木市立中央図書館

- 住所／厚木市中町 1-1-3
厚木シティプラザ 2～4 階、地下 1 階
- 交通案内／小田急小田原線本厚木駅下車
東口から徒歩 1 分。





一般利用者の利用に関するご案内

1. 利用者登録について

- (1) 登録するには
- ・ 図書の貸出には利用登録が必要となります。
 - ・ 身分証（現住所の書かれた免許証、保険証、パスポートなど）をご持参の上、利用登録申込書にご記入をお願い致します。
- ※ 企業、学生の方は上記のほか、社員証、学生証もご持参の上で来館ください。
- (2) 有効期限
- ・ 有効期限は登録日から 1 年間となります。期限切れの場合には、再度身分証をご提示ください。

2. 図書館のご利用条件など

利用条件などは以下のとおりです（貸出は図書のみ可能です）

区分	開館	閉館
月～金曜日	9 時	21 時
土曜日	9 時	17 時
日曜・祝日	休館	
夏期休暇等	9 時	17 ～ 19 時

貸出冊数	貸出期間
5 冊	2 週間

※学生試験期間（1 月と 7 月）は、ご利用いただけません。返却のみ受け付けています。

3. プライオリティ制度について

図書利用について、本学図書館では学生及び教職員にプライオリティ（優先性）を設けております。ご利用中の資料に学生あるいは教職員等から予約が入った場合には、ご連絡を差し上げますので速やかにご返却をお願い致します。ご理解とご協力をお願い致します。

4. 電子ジャーナル・オンラインデータベースの利用について

図書館で契約している電子ジャーナル・オンラインデータベースには、利用可能なタイトルがございます。利用したい場合には、1 階カウンターへお申し出ください。

5. 個人情報について

本学は、利用者の個人情報（住所、氏名、その他）を本学図書館の運営、サービスの提供、及び個人認証以外の目的には利用致しません。また業務の一部を委託として受けた業者において行うことがありますが、個人情報は神奈川工科大学及び神奈川工科大学附属図書館が明示する用途のみに使用し、委託業者にはその委託業務を超えた利用はありません。

バス時刻表（本厚木駅→神奈川工科大学）

神奈川中央交通 / 「本厚木駅」1 番のりば発

厚 07 厚 89 神奈川工科大学方面

時	平日	土曜	日曜
6	40#		
7	02 08# 22 28# 42 40# 55#	30#	30#
8	02 10# 25# 40 45# 55#	00 30#	00 30#
9	07 17# 30# 40 52#	00 30#	00 30#
10	04# 14# 24# 39 54#	02 32#	01 32#
11	09# 24# 39 54#	02 32#	02 32#
12	09# 24 39# 54#	02 32#	02 32#
13	19 49#	02 32#	02 32#
14	19 49#	02 32#	02 32#
15	19 49#	02 32#	02 32#
16	14 39#	02 32#	02 32#
17	04 34# 57	02 32#	02 32#
18	14# 37 57#	02 32#	02 32#
19	13 36# 53	02 31#	02 31#
20	18# 43	01 31#	01 31#
21	08# 33	01 31#	01
22	26	01	

無印……厚 07 神奈川工科大学方面青年の代行
……厚 89 神奈川工科大学前経由鳶尾団地行

利用可能日等、詳細は図書館ホームページをご覧ください

神奈川工科大学
附属図書館ホームページ

<http://www.kanagawa-it.ac.jp/~l4017/lib/index.html>

●交通のご案内



●学内のご案内



●2009年度図書館カレンダー

- 開館時間(通常) / 平日 9:00~21:00
土曜 9:00~17:00
- 休・閉館日 / 日曜日・祝日、
冬季休暇、蔵書点検中の一定期間、
その他大学の指定する日
※詳細は図書館HPIにてご確認ください

○は休館日

2009

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑮	20	21	22	23	24	25
⑳	27	28	29	30		
*10日 授業開始 開館時間 9:00~19:00						

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
⑦	8	9	10	11	12	13
⑭	15	16	17	18	19	20
⑰	22	23	24	25	26	27
⑳	29	30				
*14日 オープンキャンパス 開館時間 9:00~17:00						

8月

日	月	火	水	木	金	土
						①
②	3	4	5	6	7	8
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑰	⑱	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
*23日 オープンキャンパス 開館時間 9:00~17:00						

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
④	5	6	7	8	9	⑩
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
開館時間 9:00~19:00						

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
④	5	6	7	8	9	⑩
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
開館時間 9:00~19:00						

2月

日	月	火	水	木	金	土
						①
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑰	⑱	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
*1日-2日 入試 開館時間 9:00~19:00						

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑪	12	13	14	15	16	17
⑱	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
*7日 創立記念日						

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑱	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
*12日-26日 オープンキャンパス 開館時間 9:00~17:00						

9月

日	月	火	水	木	金	土
						①
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
*20日 オープンキャンパス 開館時間 9:00~19:00						

11月

日	月	火	水	木	金	土
						①
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
*12日-17日 学園祭期間 開館時間 9:00~17:00						

2010

日	月	火	水	木	金	土
						①
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
*8~12日 蔵書点検 閉館 開館時間 9:00~19:00						

3月

日	月	火	水	木	金	土
						①
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
*8~12日 蔵書点検 閉館 開館時間 9:00~19:00						

神奈川工科大学附属図書館 KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY LIBRARY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 TEL.046-241-6221 FAX.046-242-6111

<http://www.kanagawa-it.ac.jp/~I4017/lib/index.html>